

# 第16回ITスキル研究フォーラムセミナー

ワーキンググループ中間成果発表1

「キャリア自律と仕事観アンケート」調査  
から見えたITエンジニア育成の切り口

ITスキル研究フォーラム  
調査研究ワーキンググループ  
主査 石川 拓夫



# 調査研究WG 活動のねらいと目標

## 活動のねらい

ITエンジニアのキャリア自律や仕事観などを調査し、その実態を明らかにするとともに、一般的な職業人との比較を行い、固有の特色をあぶりだし、現在から将来の外部環境変化に照らし合わせて、提言を行う。

## 目標

- ・全国公開スキル診断に併せて、ITエンジニアの意識調査を行う。一般的な産業人との比較を行うために、「人口オーナス2.0調査(2011年1月21日～23日 法政大学大学院 政策創造研究科 小峰・諏訪共同研究)」の一部と同様の設問を設定する。
- ・調査後分析を行い、報告書を作成し、公表する。

## 調査研究WGメンバー

- 主査** 株式会社日立ソリューションズ  
人財開発部長  
石川 拓夫
- 副主査** 株式会社富士ゼロックス総合教育研究所  
プリンシパル  
出馬 幹也
- 委員** 株式会社インテリジェンスHITO総合研究所  
主席研究員  
須東 朋広
- 日本システムウエア株式会社  
執行役員人事部長  
西郷 正宏

## 調査研究WGのこれまでの活動

### 活動内容

- 第1回（2011年2月1日）：キックオフミーティング 目標と成果物
- 第2回（2011年2月24日）：調査の視点と仮説について
- 第3回（2011年3月30日）：アンケート調査仮説と「全国スキル調査」でのアンケート項目作成
- 第4回（2011年9月15日）：アンケート結果から読み取れることと分析の方向性
- 第5回（2011年10月13日）：スキル、職種、年齢などをキーとした分析
- 第6回（2011年11月16日）：他業種アンケートとの比較による分析と提言

# 「キャリア自律と仕事観アンケート」調査

- **調査概要**

ITエンジニアのキャリア自律と仕事観に関するアンケート調査を50問作成。全国スキル調査に併せて実施

キャリア自律に関する設問: 問1 ~ 23

仕事観に関する設問: 問24 ~ 50

- **調査期間**

2011/7 ~ 8

- **アンケート有効数**

364

## 調査前の仮説「ITエンジニアの特性及び育成課題」

- 急激な環境変化のため、将来を見据えた成長意欲が減退し、キャリア形成が主体的でないのでは？

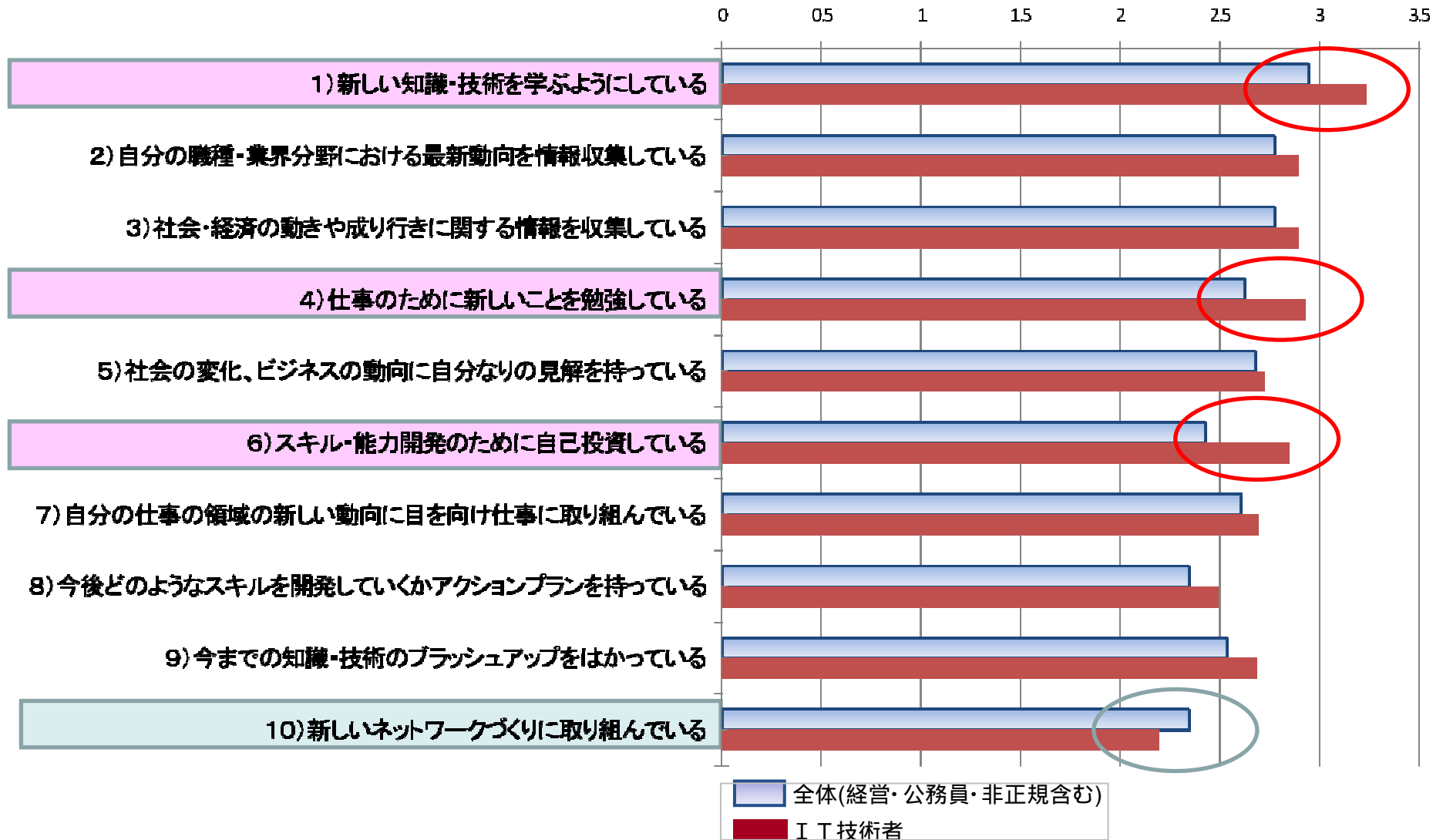
キャリア自律意識の弱さ

(国際的に通用しないプロフェッショナルマインド)

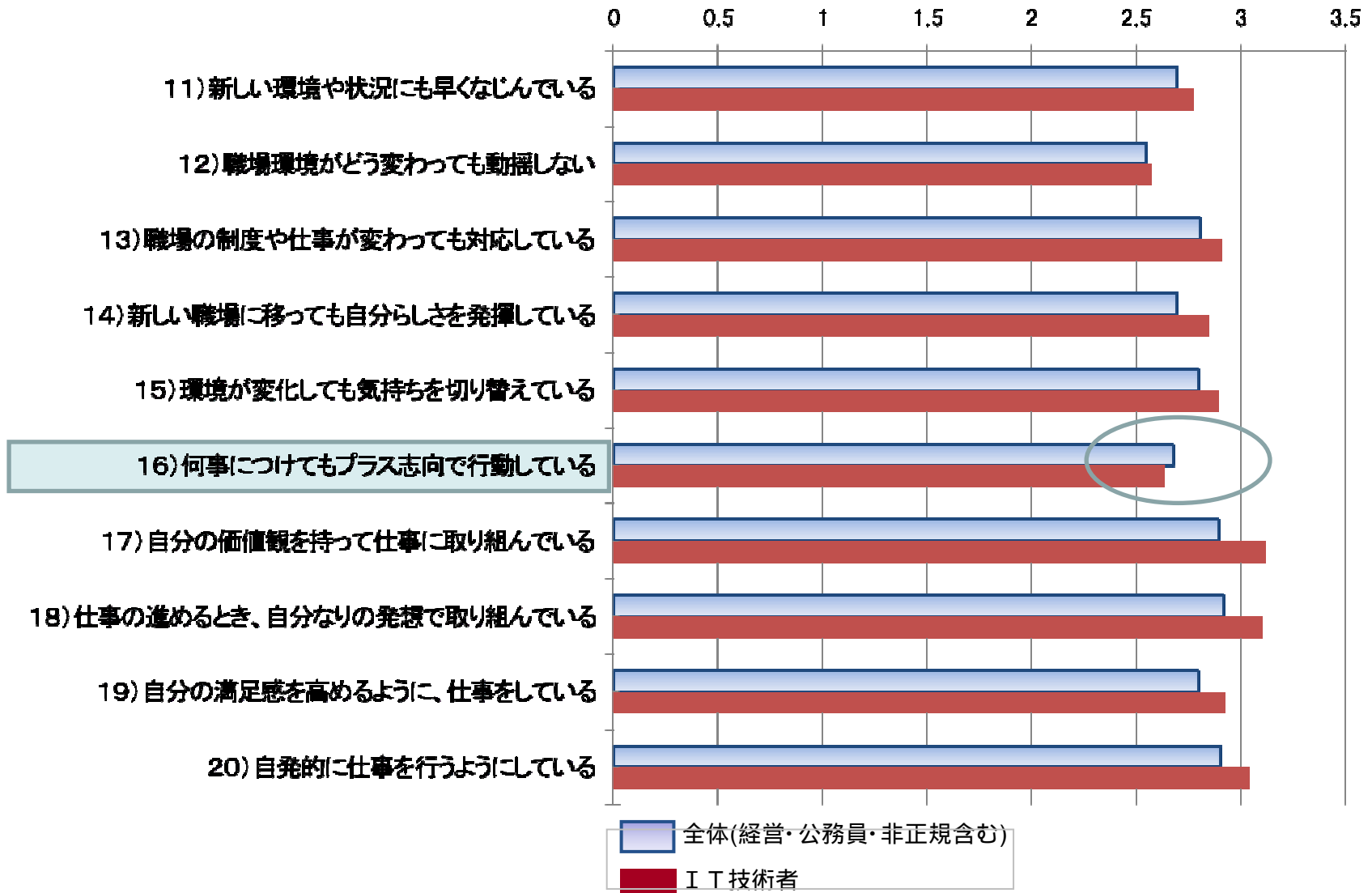
- ITエンジニアは保守性が強く、環境変化に対応する意識や行動が弱いのでは？

変化に弱い体質(職業のガラパゴス化)

# 「キャリア自律と仕事観アンケート」調査から

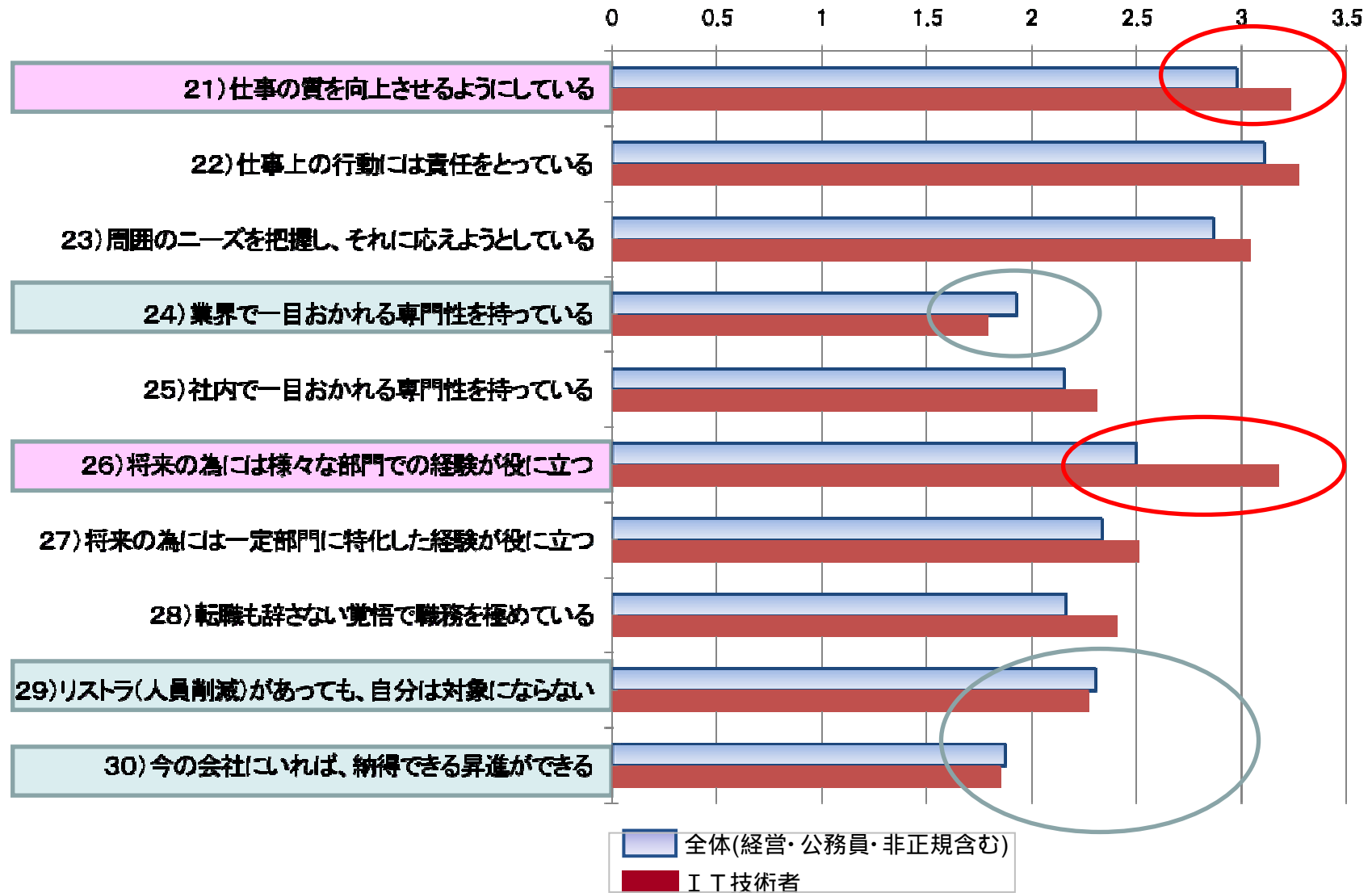


# 「キャリア自律と仕事観アンケート」調査から

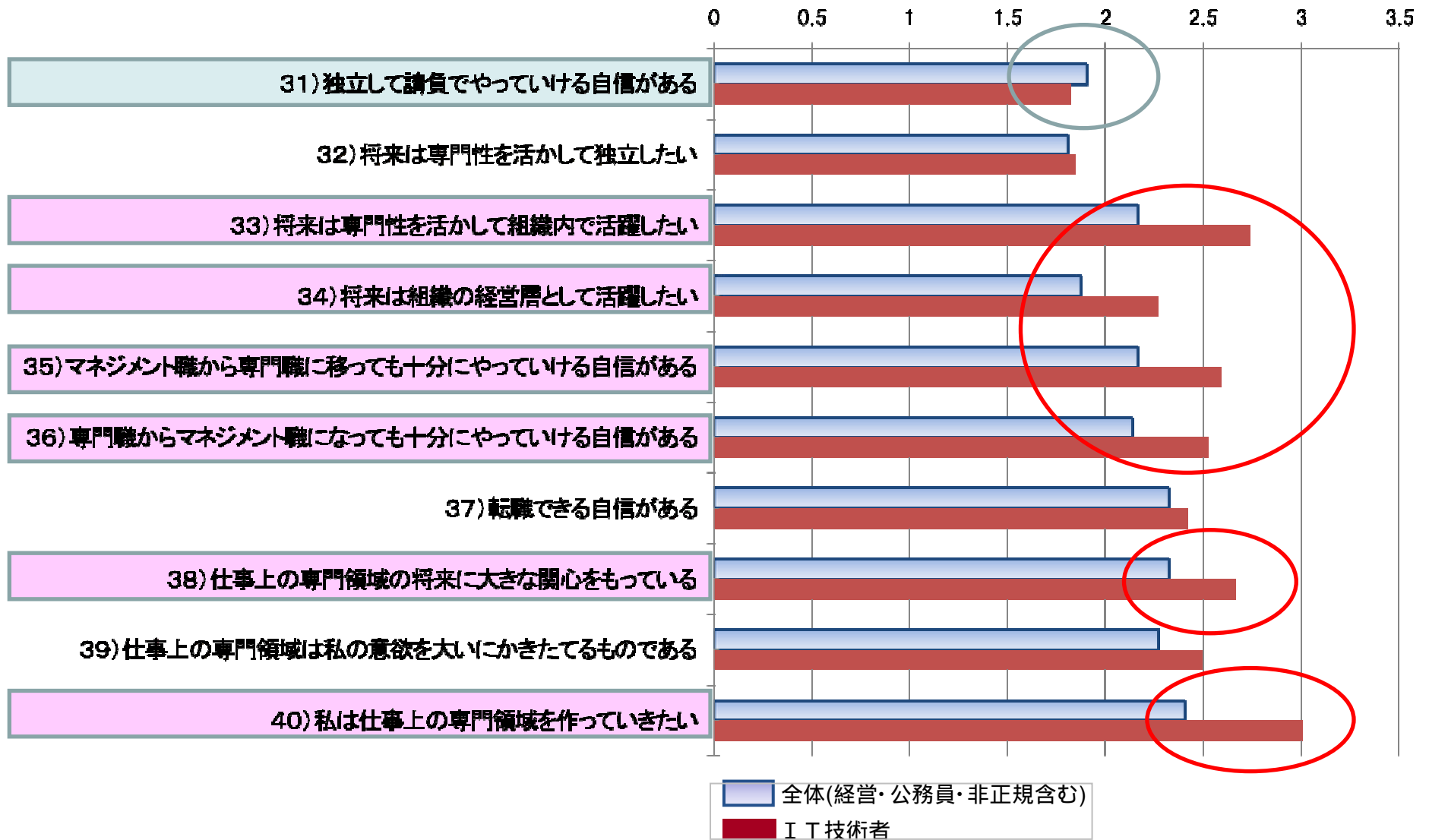




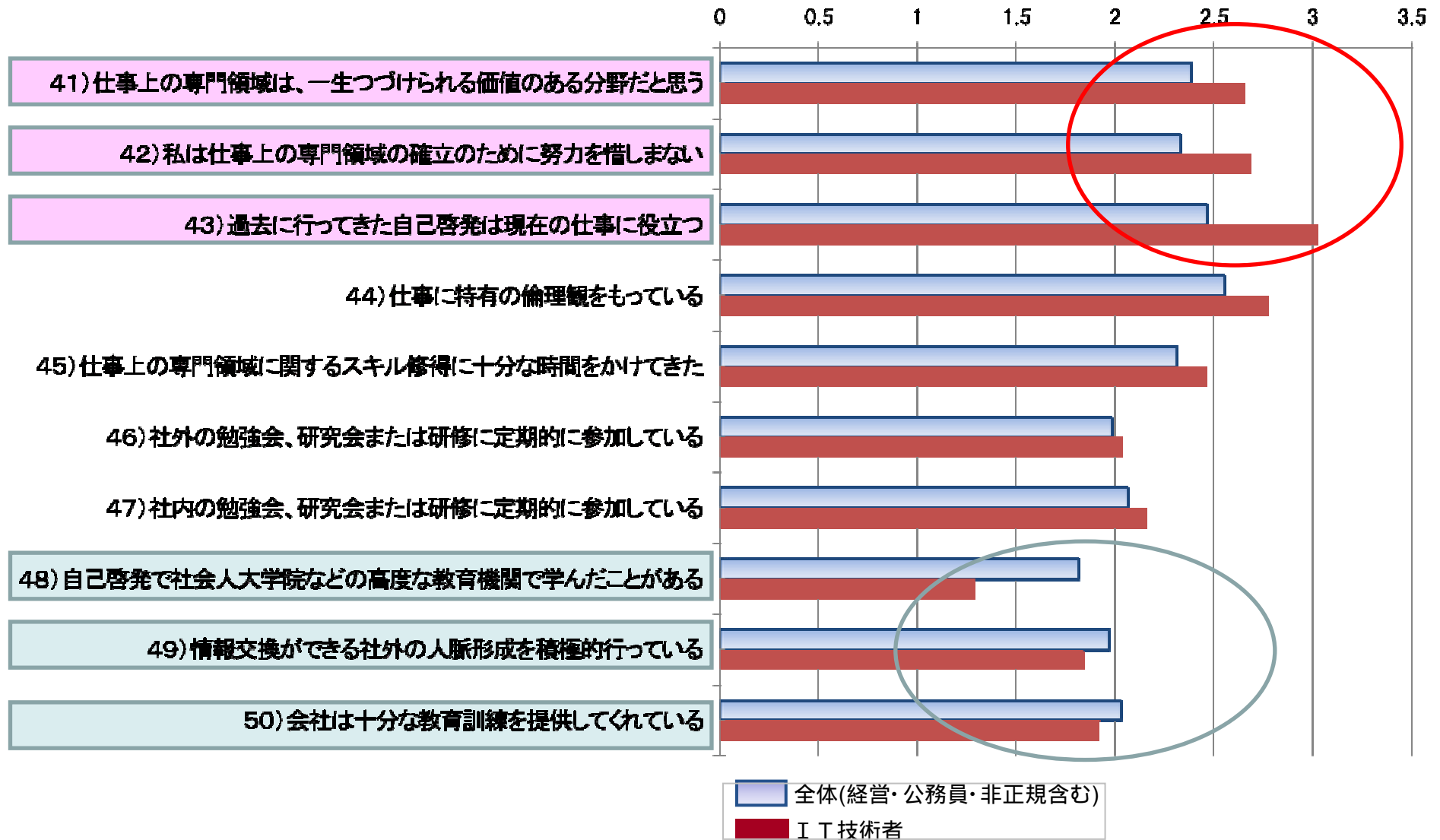
# 「キャリア自律と仕事観アンケート」調査から



# 「キャリア自律と仕事観アンケート」調査から



# 「キャリア自律と仕事観アンケート」調査から



## 今後の取り組み

- 詳細分析実施 ~ 1月末頃  
(年齢別、対応スキル標準別、職種別など)
- 報告書作成・公表 3月頃(予定)

【皆様からのパブリックコメントをお願いいたします】

[isrf@nikkeibp.co.jp](mailto:isrf@nikkeibp.co.jp)